

村上市下水道事業(公共下水道事業)経営戦略の事後検証

1 人口

(単位:人)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
水洗化人口	推計値										
	実績	19,572	20,024	20,210	20,479	20,607	21,111	21,216			
比較		19,572	20,024	20,210	20,479	20,607	21,111	21,216			

2 水需要

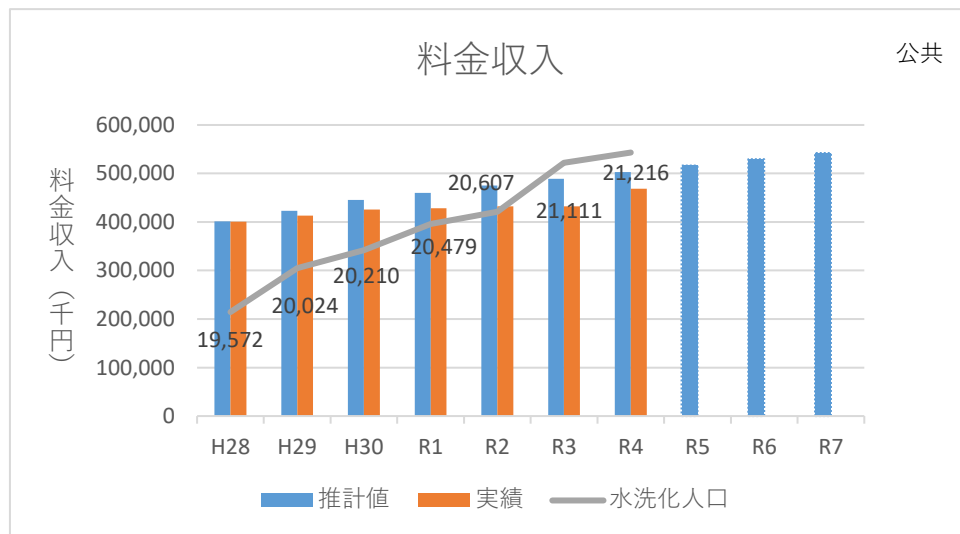
(単位:千m<sup>3</sup>)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
有収水量	推計値										
	実績	3,100	3,149	3,219	3,135	3,081	3,158	3,086			
比較		3,100	3,149	3,219	3,135	3,081	3,158	3,086			

3 料金収入(税込)

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
下水道使用料	推計値	401,400	423,300	445,300	460,300	474,900	489,100	502,900	516,400	529,500	542,200
	実績	400,519	413,124	425,508	428,660	432,612	432,618	468,674			
比較		-881	-10,176	-19,792	-31,640	-42,288	-56,482	-34,226			



○人口及び水需要

人口減少の影響により処理区域内人口は年々減少しているものの、ようやく面整備が完了したこともあり、水洗化人口は増加しているが、水洗化率は低い状況にある。

○使用料

H30年度に基本料金を統一し、R4年6月から従量料金についても、全地区で統一料金となった。(1 m<sup>3</sup>当たり167円)

R2年度から新型コロナウイルス対策としての料金改定延期、R4年度に大雨による災害減免を実施しているため、R2～R4年度推計値に対し△132,996千円となっているが、その補てんとして一般会計から87,085千円(新型コロナ分81,500千円、大雨災害分5,585千円)繰入れした。

## 4 営業費用(税込)

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
経費	推計値	377,386	428,276	435,030	434,252	419,944	423,707	427,541	431,449	435,432	439,491
	実績	365,951	398,542	460,462	465,115	1,548,386	1,599,785	1,519,715			
比較		-11,435	-29,734	25,432	30,863	1,128,442	1,176,078	1,092,174			

## 5 営業外費用

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
支払利息	推計値	317,635	305,560	292,165	278,127	262,491	252,868	240,563	229,486	214,928	201,229
	実績	313,544	293,602	274,280	253,907	233,190	214,909	197,324			
比較		-4,091	-11,958	-17,885	-24,220	-29,301	-37,959	-43,239			

## 6 建設改良費

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
投資事業	推計値	1,562,547	1,176,703	507,490	244,390	1,665,800	931,110	1,309,890	237,990	431,990	779,973
	実績	1,521,523	957,121	540,761	523,410	749,514	881,363	512,281			
比較		-41,024	-219,582	33,271	279,020	-916,286	-49,747	-797,609			

## ○費用

営業費用については、R2の法適用化で減価償却費が計上されることとなった。

営業外費用については、低金利の影響から推計値と比べ下回っている。

建設改良費については、推計値に比して減額となっているがコロナ禍等の影響による繰越案件が多くなっている。また、国の交付金の減額などにより、一部事業を先送りしたため減額となっている。

老朽化施設の改築更新は今後増加していくと想定されることから計画的な投資を行っていく必要がある。

7 企業債発行額

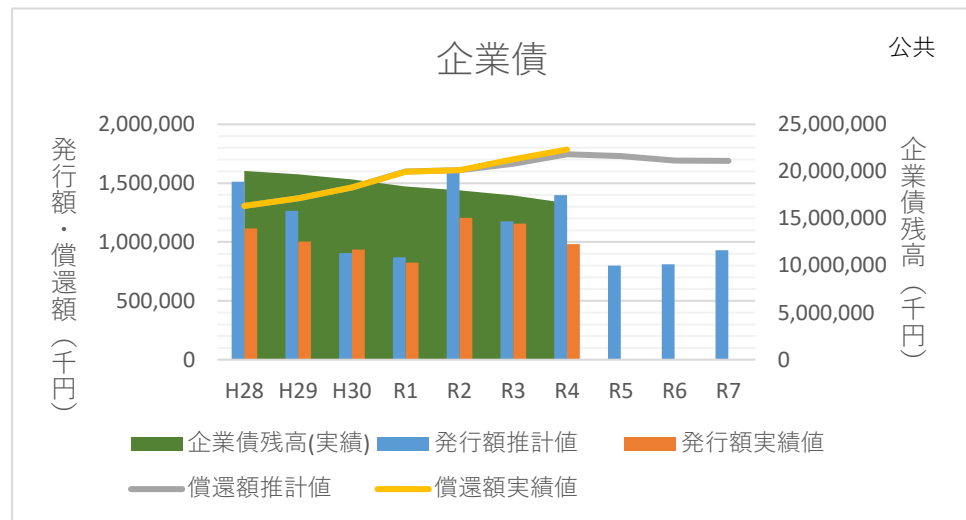
(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企業債	推計値	1,513,800	1,265,000	906,300	871,000	1,591,500	1,174,100	1,397,700	800,300	811,900	929,100
	実績	1,116,200	1,003,400	935,500	824,700	1,205,200	1,156,657	983,143			
比較		-397,600	-261,600	29,200	-46,300	-386,300	-17,443	-414,557			

8 企業債償還金

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
償還元金	推計値	1,307,004	1,371,558	1,463,858	1,599,414	1,611,703	1,665,409	1,745,837	1,731,542	1,691,050	1,689,601
	実績	1,307,002	1,371,416	1,463,695	1,595,902	1,609,794	1,703,793	1,785,951			
比較		-2	-142	-163	-3,512	-1,909	38,384	40,114			
企業債残高		20,050,892	19,682,876	19,154,681	18,383,479	17,978,885	17,431,749	16,628,941			
処理区域内人口1人当たりの残高		620	617	611	594	589	580	560			



○企業債  
 企業債発行額については、推計値に比して減額で推移しているが、近年は一般会計からの繰入金の減額等により、資本費平準化債を最大限活用することとしているため増加傾向にある。企業債残高は現在、償還額のピークを迎えており、償還額が発行額を上回っているため減少している。

9 一般会計繰入金(他会計補助金)

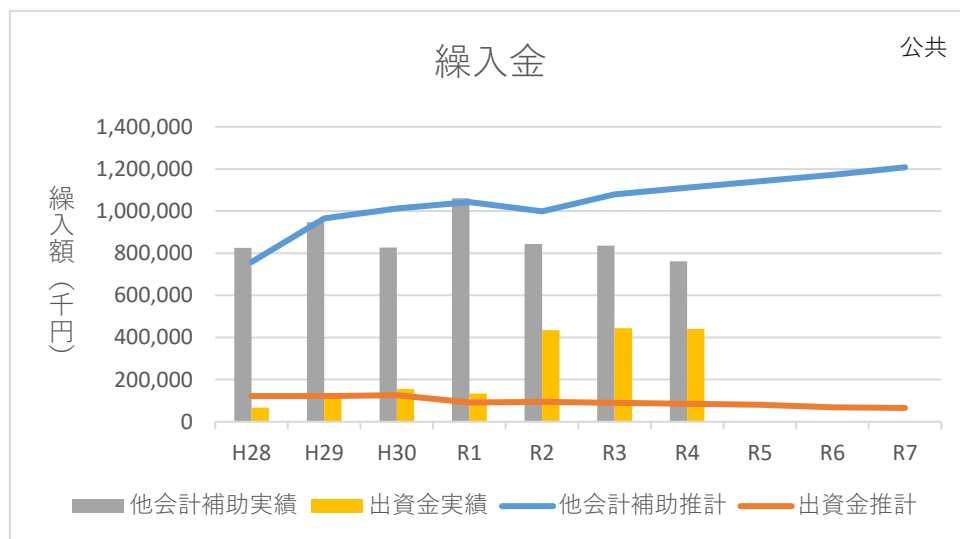
(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
収益的収支	推計値	758,083	965,853	1,012,776	1,042,959	998,143	1,078,940	1,111,737	1,142,070	1,171,274	1,207,708
	実績	826,075	946,975	827,192	1,060,214	844,068	836,035	761,840			
比較		67,992	-18,878	-185,584	17,255	-154,075	-242,905	-349,897			

10 一般会計繰入金(出資金)

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
資本的収支	推計値	121,400	121,525	125,949	91,506	94,272	89,476	85,376	81,279	68,808	65,377
	実績	66,671	122,491	155,686	134,406	434,996	444,149	440,256			
比較		-54,729	966	29,737	42,900	340,724	354,673	354,880			



○繰入金

繰入金についてはR2の法適用化により収益的収支から資本的収支に振り替えられ、推計値と大幅に乖離している。公共下水道事業の繰入金総額についてはR2の1,288,076千円(雨水負担分9,012千円含む)からR4は1,202,096千円と減額傾向にあり、基準外繰入金もR2の437,946千円からR4は368,147千円と減少している。